

災害時の福祉用具対応



With 株式会社 **ウィズ**

～目次～

【特殊寝台】

《パラマウントベッド》

- ・楽匠Z P.3～6
- ・楽匠Feez P.7～9
- ・楽匠プラスHタイプ°(KQ-A5～8) P.10～12
- ・楽匠プラスXタイプ°(KQ-A0～4) P.13～15
- ・Q-AURAクオラ P.16～18

《プラッツ》

- ・ミオレットⅢ P.19
- ・ラフィオ P.20

《フランスベッド》

- ・自動寝返りベット P.21

【エアマット】

《モルテン》

- ・オスカー P.22

《ケープ》

- ・ネクサスR P.23

【蓄電池】

P.24～25

【3電源吸引器】

P.26～27



13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**図** 故障かな?と思ったら」(68・69ページ参照)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(141ページ参照)までご連絡ください。

注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(125ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

使用する工具	ペンチ・プライヤー(小)
--------	--------------

注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。



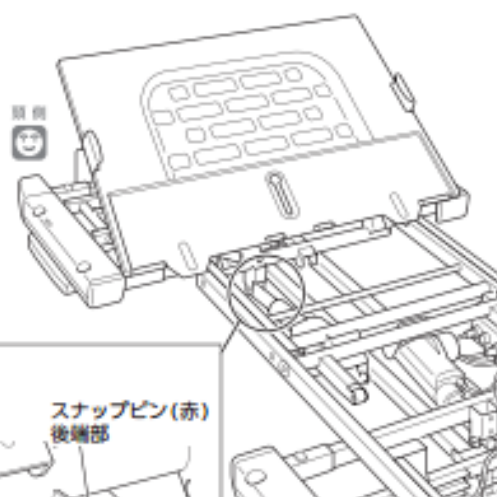
【楽匠Z】

- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外してください。

- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。



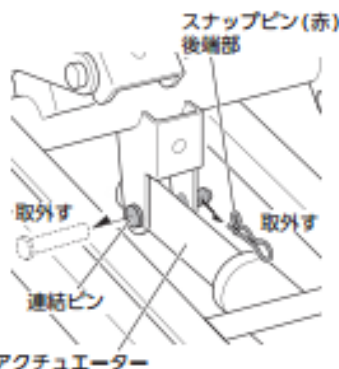
取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



スナップピンの抜きかた

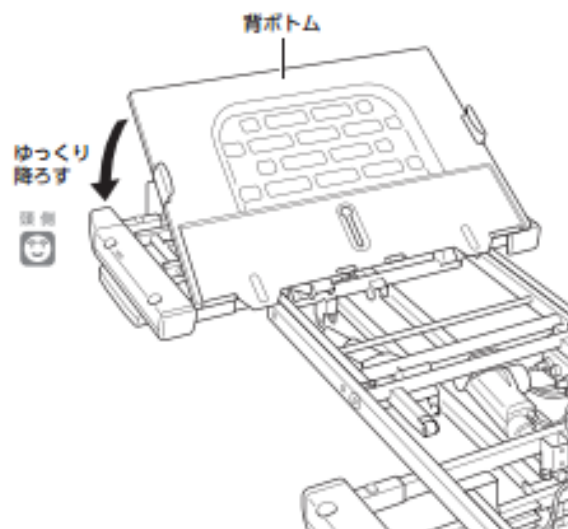
- スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑦ 背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。



- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(114ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

【楽匠Z】

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「**4** 組立後の点検」(116～123ページ参照)に従って点検を行ってください。

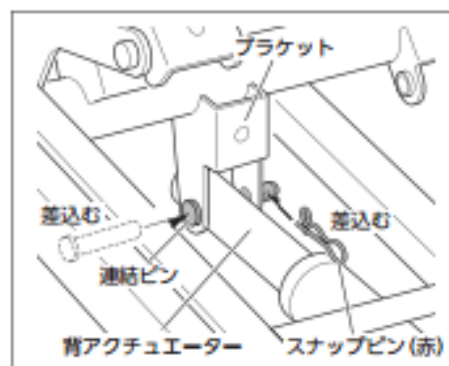
- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(125ページ参照)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。



連結ピンは、手動で背さげたときに取外したものを使用してください。

⚠ 注意

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(141ページ参照)までご依頼ください。



※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(114ページ参照)

13 緊急時のベッド操作のしかた

2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた



注意

ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。



- スマートハンドル付のベッド (KQ-7***S) またはオプション品 (KQ-P70S) を取付けたベッドのみ操作可能です。
- スマートハンドルで「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高さ(頭側)さげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。

- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。

背あげ/背さげ



膝あげ/膝さげ

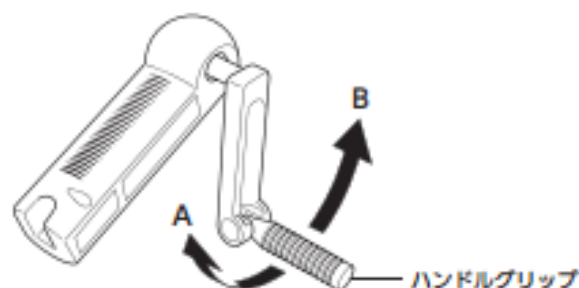


高さ(頭側)さげ



- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さ(頭側)がさがる





Ⅳ 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

1. 背さげのしかた

使用する工具	ベンチ・プライヤー（小）
--------	--------------



スナップピンの抜きかた

- スナップピン（赤）を、図の方向にひねり、そのままスナップピン（赤）の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ベンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



■停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。背さげ操作は、以下の手順で行ってください。

停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、91・92ページの「Ⅳ 故障かな?」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくはパラテクノコールセンター(111 ページ参照)までご連絡ください。

⚠ 注意

作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。

- ① ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(95 ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

⚠ 注意

②で、背膝連動に設定している場合は、背あげリンクをしっかりと持って操作してください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

- ⑤ 背アクチュエーターの先端の連結ピンについているスナップピン（赤）を取外してください。
- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すると背あげリンクが自由に動くようになります。
- ⑦ 背あげリンクを降ろしてから背ボトムをゆっくり降ろしてください。



取外した連結ピンおよびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。



⑧ ヘッドボードを取付けてください。(71 ページ参照)
この作業を行ったときは、復帰作業を行って元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

【楽匠Feez】

2. 戻しかた

使用する部品 取外した連結ピン、新しいスナップピン(赤) 各1本

■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、72～77ページの「**11** 組立後の点検」に従い、点検を行ってください。

注意

作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。



注意

スナップピン(赤)は再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはバラテクノコールセンター(111ページ参照)までご依頼ください。

- ①ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ②ヘッドボードを取外してください。(95ページ参照)

- ③背ボトムと背あげリンクを持ちあげ、支えてください。



2 をご使用の場合、背膝連動を解除(「背あげ」に切換え)した方が作業がしやすくなります。(35・36ページ参照)

- ④背アクチュエーター先端の穴と背あげリンクの穴の位置をあわせ、取外してあった連結ピンを差込んでください。
- ⑤連結ピンが抜けないようにスナップピン(赤)を差込んでください。
- ⑥ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑦手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ヘッドボードを取付けてください。(71ページ参照)

15 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

3. スマートハンドルによるベッド操作のしかた



注意

スマートハンドルの操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。スマートハンドルの操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

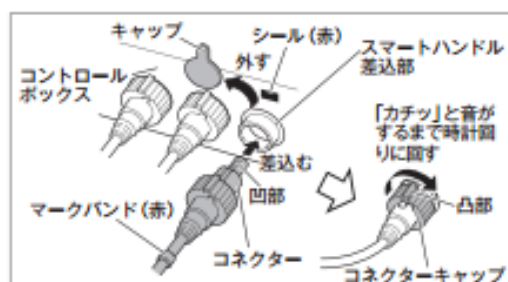


- スマートハンドル（KQ-P70S：別売）をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。
- スマートハンドルは停電時やベッドの故障[※]などの緊急時に、すぐに使用できるよう収納ケースに保管してください。
※故障内容によっては、スマートハンドルによる操作ができない場合があります。
- 楽匠FeeZシリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けることはできません。

スマートハンドルの取付けかた・取外しかた

【スマートハンドルの取付けかた】

- ① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部（シール：赤）のキャップを取外してください。
- ② スマートハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部（シール：赤）に差込んでください。
- ③ コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。



【スマートハンドルの取外しかた】

- ① 使用後は取付けと逆の手順でスマートハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。



【スマートハンドルの取付けかた】①で取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。

操作のしかた

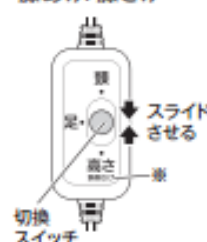
- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。

※切換スイッチのラベルには「頭側さげ」と表示されていますが、楽匠FeeZシリーズはベッド全体の高さがさがります。

背あげ/背さげ



膝あげ/膝さげ

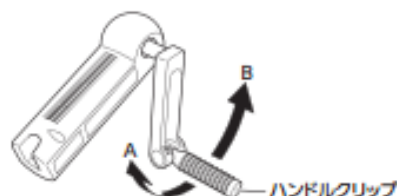


高ささげ



- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝がさがる	膝があがる
高さ	—	高さがさがる



【楽匠プラスHタイプ】



13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**図** 故障かな？と思ったら」(67・68ページ参照)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(146ページ参照)までご連絡ください。



注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(133ページ参照)
- ④ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを支えてください。

使用する工具

ペンチ・プライヤー(小)



注意

- 手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。
- 背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動いて、背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。



図例

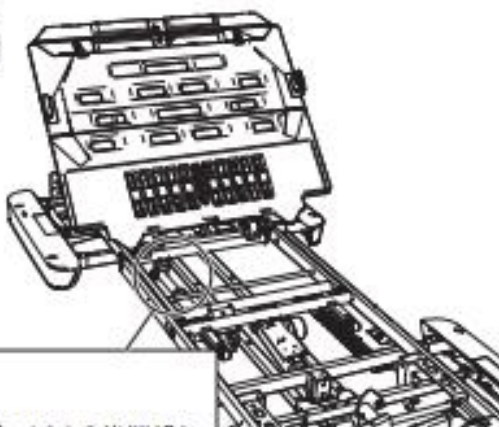
【楽匠プラスHタイプ】

- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外してください。

- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。



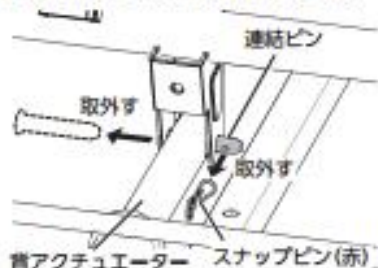
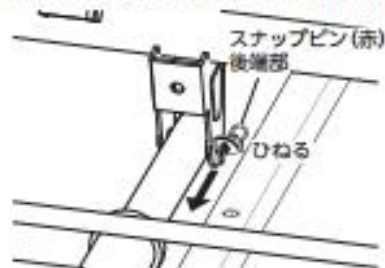
取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



スナップピンの抜きかた

- スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

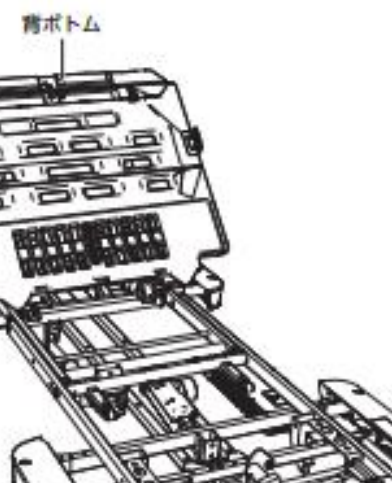
- ⑦ 背あげリンクをゆっくり降ろしてください。



- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(117ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。



【楽匠プラスHタイプ】

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「**4 組立後の点検**」(123～131ページ参照)に従って点検を行ってください。

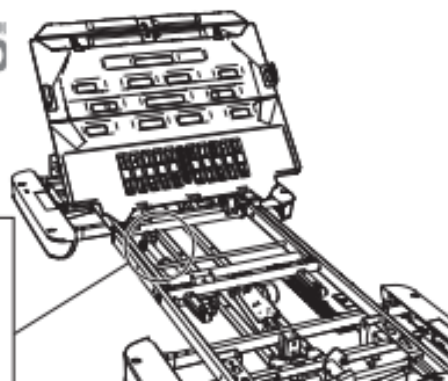
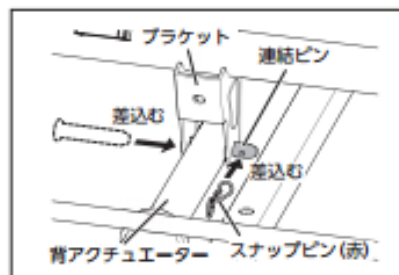
- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(133ページ参照)
- ③ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを持ち上げて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。



連結ピンは、手動で背上げしたときに取外したものを使用してください。

⚠ 注意

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはバラテクノコールセンター(146ページ参照)までご依頼ください。



※作業をわかりやすくするために、膝・足ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下まで下げてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(117ページ参照)

※スマートハンドル操作はP.9と同じ

【楽匠プラスXタイプ】



13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**10** 故障かな?と思ったら」(68・69ページ参照)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)までご連絡ください。

⚠ 注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(141ページ参照)
- ④ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを支えてください。

使用する工具 ペンチ・プライヤー(小)



⚠ 注意

- 手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。
- 背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動き、背あげリンクなどがさがり、けがをするおそれがあります。

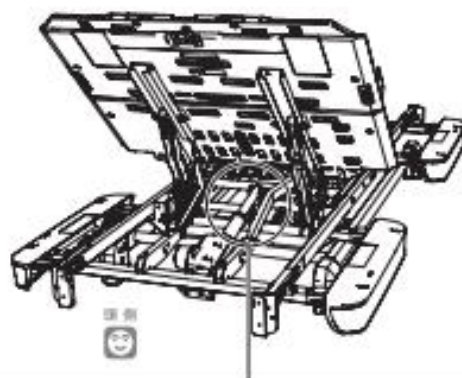
【楽匠プラスXタイプ】

13 緊急時のベッド操作のしかた

- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外してください。
- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。



取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



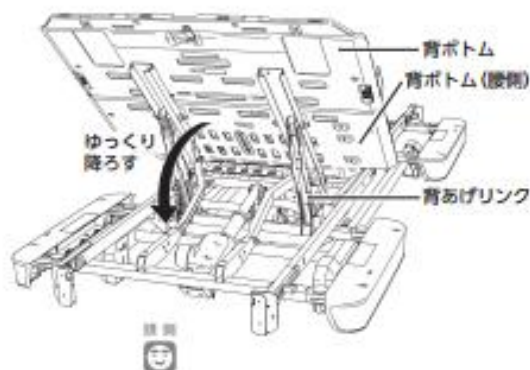
スナップピンの抜きかた

スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



- ⑦ 背あげリンクをゆっくり降ろしてください。



- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(125ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

【楽匠プラスXタイプ】

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(131～139ページ参照)に従って点検を行ってください。

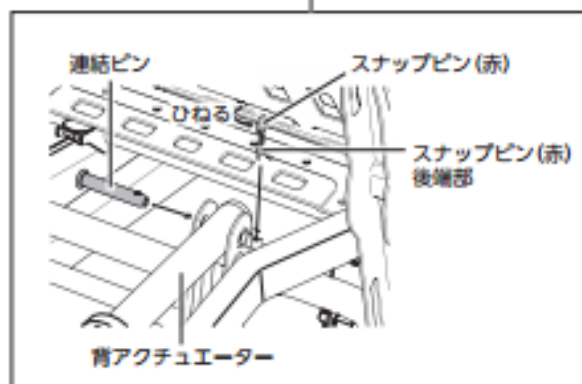
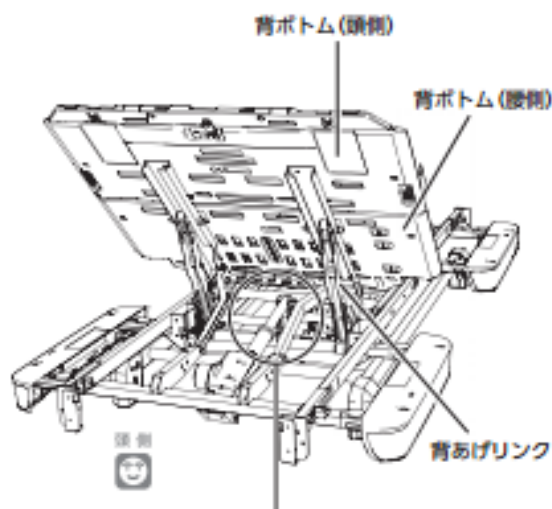
- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(141ページ参照)
- ③ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを持ち上げて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。



連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

⚠ 注意

- 背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動き、背あげリンクなどがさがり、けがをするおそれがあります。
- スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)までご依頼ください。



- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(125ページ参照)

※スマートハンドル操作はP.9と同じ

【Q-AURA(クオラ)】

13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**図** 故障かな?と思ったら」(56・57ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(104ページ参照)までご連絡ください。



注意

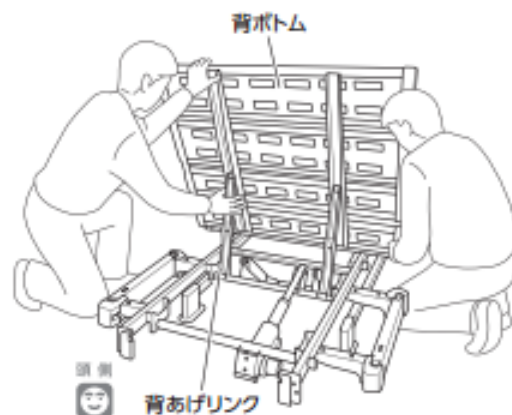
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1.手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを外してください。(95ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

使用する工具	ペンチ・プライヤー (小)
--------	---------------



注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

【Q-AURA(クオラ)】

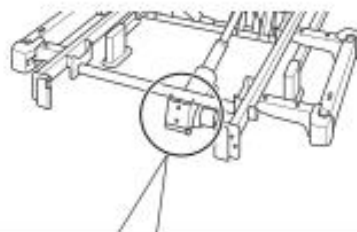
- ⑤ 背アクチュエーターを手でしっかりと支えながら、背アクチュエーターについているスナップピン(赤)を取外してください。

※作業をわかりやすくするために、背ボトムは省略したイラストになっています。

- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。



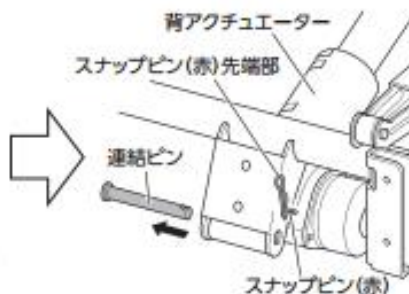
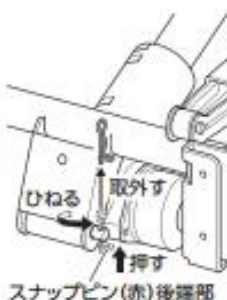
取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



スナップピン(赤)の抜きかた

- スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



- ⑦ 頭側フレームのクリップから背アクチュエーターケーブルを外してください。

- ⑧ 背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。

- ⑨ ヘッドボードを取付けてください。(87ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。



【Q-AURA(クオラ)】

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(88～93ページ参照)に従って点検を行ってください。

- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(95ページ参照)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、背アクチュエーターの穴と頭側フレームにある背アクチュエーター取付部の穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。



連結ピンは、手動で背上げしたときに取外したものを使用してください。

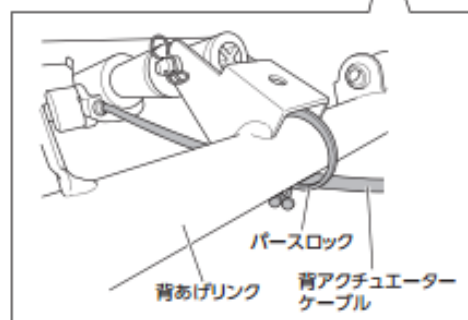
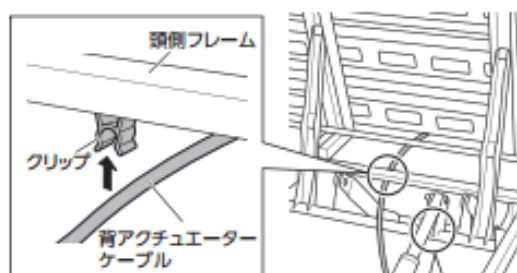
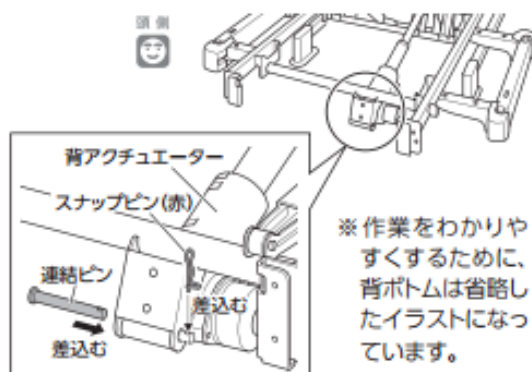
注意

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(104ページ参照)までご依頼ください。

- ⑤ 頭側フレームのクリップに、背アクチュエーターケーブルを留めてください。
- ⑥ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下まで下げてください。
- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(87ページ参照)



背あげリンクについているパースロック内に、背アクチュエーターケーブルが通っていることを確認してください。



※スマートハンドル操作はP.9と同じ

【ミオレットⅢ】

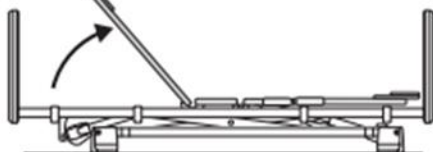


停電時の背下げ操作方法

※作業時は、必ずご利用様はベッドから降りていただき作業を行ってください。

※プラグはコンセントから抜いてください。※危険防止のため、作業は2人以上で行ってください。

- ①ご利用様と寝具をベッドから降ろし、作業は背ボトムを手で支えて行ってください。



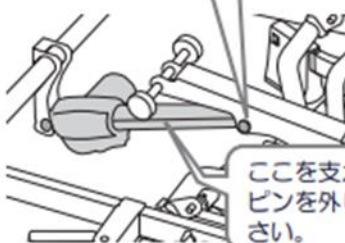
警告

安全のため作業は2人以上で行ってください。

- ②背上げモーター先端のピンを外してください。

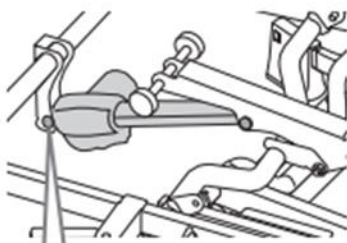
ここを斜めに押しながら、
抜け止めスナップ
ピンを取り外します。

反対側から
ピンを抜きます。



ここを支えながら
ピンを外してください。

- ③背上げモーター根元側の抜け止めスナップピンとピンを抜いてください。



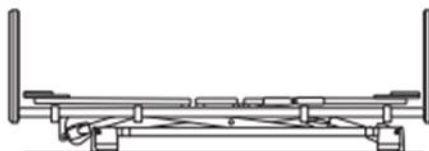
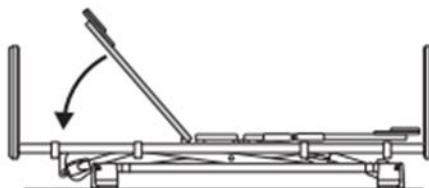
ここを斜めに押しながら、
抜け止めスナップ
ピンを取り外します。

反対側から
ピンを抜きます。



- ④背上げモーターをヘッドフレームから外します。

- ⑤背ボトムを下ろします。



電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください。

外した抜け止めスナップピンとピンは背ボトムを元に戻す際に使用しますので、保管しておいてください。

※停電時はオプションのバッテリーを使用して、背下げをおこなうことができます。

【ラフィオ】



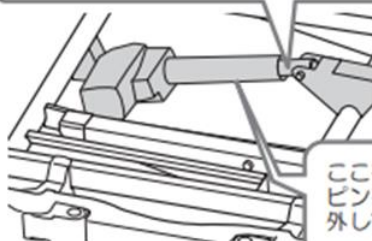
停電時の背下げ操作方法

※作業時は、必ずご利用者はベッドから降りていただき作業を行ってください。
※プラグはコンセントから抜いてください。※危険防止のため、作業は2人以上で行ってください。

- ①ご利用者と寝具をベッドから降ろし、作業は背ボトムを手で支えて行ってください。



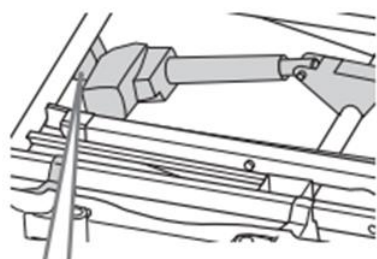
- ②背上げモーター先端のピンを外してください。



警告

安全のため作業は2人以上で行ってください

- ③背上げモーター根元側の抜け止めスナップピンとピンを抜いてください。



- ④背上げモーターをヘッドフレームから外します。

- ⑤背ボトムを下ろします。



電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください。
外した抜け止めスナップピンとピンは背ボトムを元に戻す際に使用しますので、保管しておいてください。
※停電時はオプションのバッテリーを使用して、背下げをおこなうことができます。

【自動寝返り支援ベッド FB-640】

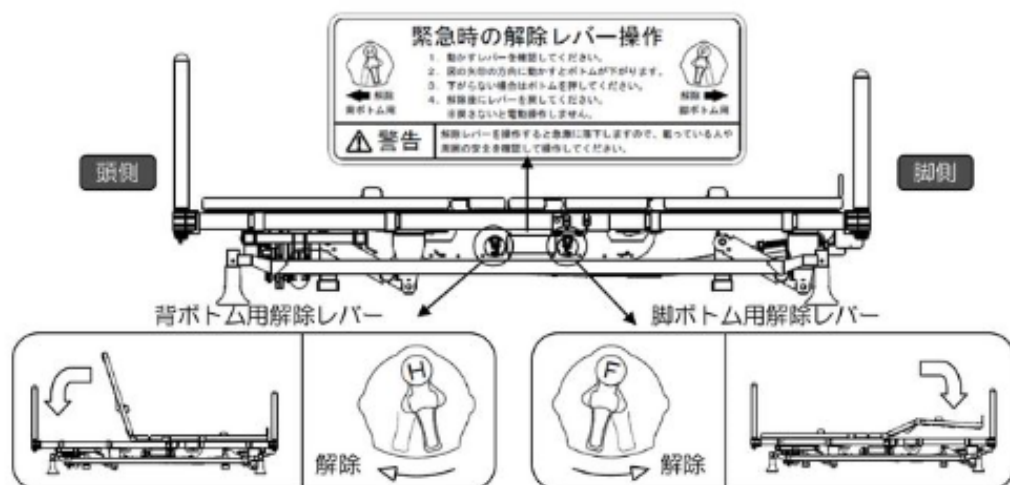


13. 停電や故障で背や脚が起きたまま停止してしまったとき

停電や故障により背ボトムや脚ボトムが起きたまま停止してしまった場合に、上がっている背ボトムや脚ボトムを水平位置に戻すことができます。（※昇降、寝返りは解除できません）

解除レバーの操作方法

- ① 作業を始める前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 解除レバーはベッド頭側からみて右側、ギャッチモーター側面にあります。頭側が背ボトム用解除レバー、脚側が脚ボトム用解除レバーになります。
- ③ 解除レバーを操作する際は、なるべくベッドに人がのっていない状態で行ってください。のっている方がいる場合は、解除レバーを操作した後に急激にボトムが落下しないよう、一人がボトムを支えた状態で、別の方が解除レバー操作を行ってください。
- ④ 背ボトムを水平にする際は、背ボトム用解除レバーを左に回してください。脚ボトムを水平にする際は、脚ボトム用解除レバーを右に回してください。解除レバーは奥までしっかり回してください。
- ⑤ 解除レバー操作後、ボトムを上から押し下げてください。
- ⑥ ボトムを水平に戻した後は、解除レバーを元に戻してください。戻さないと次にご使用になるときに動作しません。

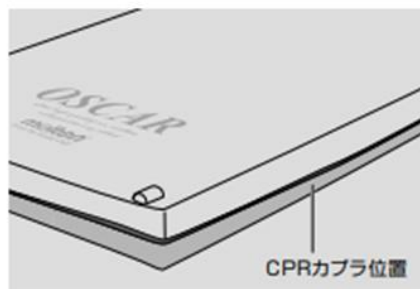


【オスカー】



緊急時にポジショニングセルの空気を抜く方法

体位変換中に心臓マッサージなど緊急にマットレスをフラットにする必要がある場合、または体位変換中に停電になった場合は、以下の方法でポジショニングセルの空気をすばやく抜くことができます。



足元側から見て右側のシートをめくり、CPR表示ラベルそばにある赤いCPRカブラを、取っ手を持って開けてください。約20秒で空気が抜けます。再度使用する場合は、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



停電時の使用

長時間の停電で、マイクロエアセルの空気が全て抜けてしまったとしても、ウレタンフォームのフィッティング層＋底着き防止層があるため、従来のウレタンフォーム系静止型マットレス同等の体圧分散性が確保されており、安心してご使用いただけます。但し、空気が抜けた状態では目標とする体圧分散性能は発揮されません。

また、停電復旧後には停電前に設定していた条件に戻るため、再設定の必要がありません。

【ネクサスR】



■ 停電時の対応方法

エアマスターネクサスRは、停電対策機能付きです。

停電の際は、特別な操作を行う必要はありません。

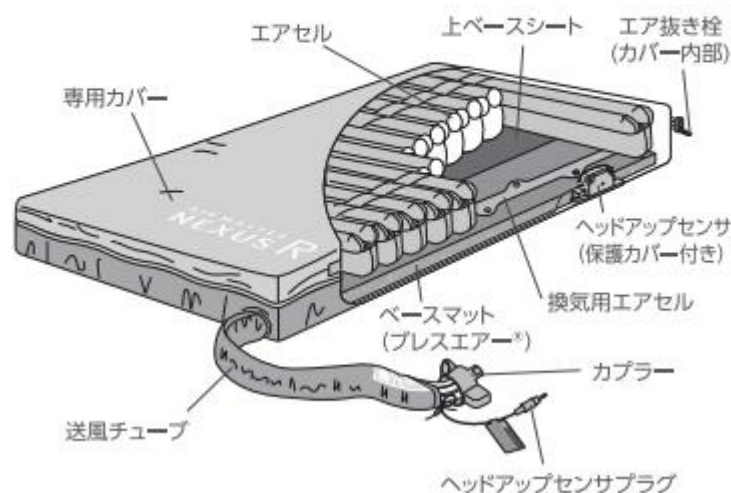
- 停電と同時に特殊なバルブが自動的にエア抜কে防止し、マットレス全体の内圧を約14日間保持します。
- 電源復旧後、上記メモリ機能によって記憶された設定が復帰します。

注意

カプラーを外さないように注意してください。

専用マットレス (専用カバー付属)

■ 表面



■ ポンプ後部



【蓄電池】



ポータブル電源

BN-RB10-C **NEW**

参考価格¥150,000-(税抜)



防災製品等推奨品認証



「防災製品等推奨品」は、一般社団法人防災安全協会が防災分野において有益な活用が可能で安全性、機能性、利便性に寄与する製品として認証する制度です。ポータブル電源は「停電や災害時の備え」としても有効に安心して活用できます。

使用機器への給電回数・使用時間の目安(※2)

BN-RB10-C 1,002Wh

 フル充電 時間	 ソーラーパネル 充電時間 ^{※3}	 LEDライト 12W	 スマートフォン 15W (充電回数)	 扇風機 30W
約7.5時間	約17時間	約63時間	約50回	約25時間
 ドローン 35W (充電回数)	 小型冷蔵庫 39W	 ノートPC 50W	 電気毛布 60W	 小型炊飯器 360W (使用回数)
約21回	約19時間	約15時間	約12時間	約2回
 電動工具 400W	 芝刈り機 500W	 コーヒーメーカー 600W (使用回数)	 小型ポット 1,000W (使用回数)	 小型IH調理器 1,000W
約2時間	約1.5時間	約1回	約3回	約40分

※2：計算上の数値です。使用する機器の状態や使用状況により変わります。

※3：BN-RB10-C/BN-RB6-C/BN-RB5-C/BN-RB3-Cは、BH-SP100-Cで安全に充電できることを確認しています。設置環境や機器の組み合わせによって、充電時間が大きく変化します。あくまで標準的な充電時間の目安として参考になしてください。

2020年7月現在の情報です。

【蓄電池】

新東京物産

TPD-J130 大容量ポータブル電源

アウトドアでのレジャーに1台、防災グッズとしても有用なバッテリー！

持ち運びに便利なサイズの電源ですので、屋外でのレジャーや、ちょっとしたお出掛けなどにも便利です。



参考価格¥15,000-(税抜)

★バッテリー本体にLEDランプを搭載★

バッテリー本体にLEDランプが搭載されていますので、周りに明かりの無い環境でも安心してご使用いただけます。

製品仕様

- 容量: 36000mAh、3.6V/130Wh
- DC充電: 12.6V-24V/2A
- 満充電時間: DC 12.6V時 約8時間
- ソーラー充電ポート: 12.6V-24V/2A Max
- AC出力: 2x修正正弦波、定格100W/Max150W
- DC出力: 4xDC 9-12.6V/2A
- USB出力: 2xUSB 5V/2A
- 光源タイプ: 3W LEDランプ ハイ/ソフト、1.5W LEDランプ ハイ/ソフト
- 本体サイズ: 204x90x161mm
- 本体重量: 1.5kg
- 付属品: ACアダプター、LED電球、日本語取扱説明書

※蓄電池の需要が高まっており、品薄状態が続いております。
在庫状況やお値段は営業担当へご相談ください。

【3電源タイプ吸引器】

※標準もしくはオプション選択で、
3電源（家庭用AC電源・車載用DC12V・内蔵バッテリー）
対応可能な機種例です。

バッテリーを内蔵していますので停電時でも安心してご使用いただけます。
ボトルがワンタッチで外せますので、吸引物の処理が簡単にできます。

吸引器

コンセント
で使用する

内蔵バッテリー
で使用する

自動車内
で使用する

3電源対応吸引器 ミニックDC-II

¥85,000 (税別)

販売名:ミニックDC-II 認証番号:225AKBZX00139000

仕様

- 型式:MWD2-1400 ●最大吸引圧力:-80kPa
- 排気流量:通常30L/分(32L/分)/節電20L/分(22L/分)
()内はポンプ単体の排気流量
- 吸引瓶容量:1400mL (ポリカーボネイト樹脂製)
- 電源:AC100V 50-60Hz 115VA/ DC12V 4.3A (自動車用電源使用時)
- 充電時間:3~4時間
- 連続作動時間:6時間以内 (AC電源・自動車用電源使用時)
- ポンプ形式:ピストン式 (ダブルヘッド)
- 本体寸法:W400×D150×H270mm ●質量:約4.1kg
- 付属品:ACアダプター・吸引ホース2m・ダストカバー・自動車用電源コード
- ※ミニックDC-IIはACアダプターを採用しているため電源コード巻き取り式ではありません。
- ※吸引カテーテルは別売りです。



■内蔵バッテリー作動時間 (満充電・無負荷)

- ・通常運転 約40分 ・節電運転 約60分
- ※節電運転では、より静かな運転ができます。
- ※作動時間は目安です。

■過充電防止機能付

■バッテリー残量ランプ

- 2個点灯:残量は十分にあります。
- 1個点灯:残量が減少しています。
- 1個点滅:すぐに充電が必要です。

■バッテリー交換



バッテリーはお客様で交換できます！

POWER SMILE



お出かけ先でも便利に使える

コンセント
で充電

パワースマイル

KS-700 ¥38,000
充電器付 ¥57,800
(セット内容KS-700+KC-1500m)

登録番号: 21900BZX01316000

管理番号: 0000

- ワンタッチ式ボタンで蓋が開きます。
- 中蓋と上蓋が分離していますので、掃除が簡単で清潔です。
- 別売品の専用充電器KC-1500mを使用すると充電で動作が可能です。

ワンタッチ開閉

中蓋方式



パワースマイル交換部品



- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ① 700mLブラ吸引瓶 140030073 | ⑩ 吸引ホース口 5個 140030113 |
| ② 吸引瓶用蓋一式 140030071 | ⑪ 安全瓶-本体用ホース一式 140030068 |
| ③ 吸引瓶用蓋一式 140030161 | ⑫ 吸引-安全瓶用ホース一式 140030067 |
| ④ 吸引瓶用パッキン 140030066 | ⑬ ACアダプター 140030062 |
| ⑤ 安全瓶一式 140030072 | ⑭ マッサージ管 140030117 |
| ⑥ 安全瓶用パッキン 水色 5枚 140030162 | ⑮ フロートセット 140030233 |
| ⑦ サイレンサーフィルター 5個 140030108 | |
| ⑧ カテーテルホルダー 200190037 | |
| ⑨ 7x11吸引チューブアダプター付2m 200190082 | |

【別売品】

- ① 専用充電器 KC-1500m (充電池1個付) 140030163
- ② シガーライターコード 140031333
- ③ 専用充電池 KB-1500 140030063

便利な
充電機能
付き



充電機能付きスマイルケア

コンセント
で充電

スマイルケアC

KS-1000C ¥68,000

登録番号: 223AHBZX00018000

管理番号: 0000

- 別売品の充電器を使用することなく、吸引器本体で充電が行えます。
(取り外し可能なカセット式専用充電池が標準付属。)
- 満充電を検知するとACアダプターをコンセントに差し込んだままでも規定の
電池電圧になるまで再充電されない設計。
(浅い充電の繰り返しによる電池の劣化を防ぎます)
- ecoモード運転では約17%動作時間が長くなります。

残量目安表示/ecoモード



残量目安表示で
電池の残りが一目でわかります。

「ecoモード」は省電力で
夜間の使用に最適です。

専用充電池 1個標準付属



スマイルケア交換部品



- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ① 上蓋一式 140030231 | ⑩ 吸引ホース口 5個 140030113 |
| ② カテーテルホルダー 200190037 | ⑪ 安全瓶-本体用ホース一式 140030068 |
| ③ 吸引瓶 140030234 | ⑫ 吸引-安全瓶用ホース一式 140030067 |
| ④ 安全瓶一式 140030235 | ⑬ ACアダプター 140030062 |
| ⑤ 吸引瓶用パッキン 140030232 | ⑭ マッサージ管 140030117 |
| ⑥ フロートセット 140030233 | ⑮ フロートセット 140030233 |
| ⑦ L型アダプターS-4 (黄色) 5個 200191437 | |
| ⑧ 吸引ホース口 5個 140030113 | |
| ⑨ 安全瓶用パッキン 水色 5枚 140030162 | |
| ⑩ 7x11吸引チューブアダプター付2m 200190082 | |
| ⑪ サイレンサーフィルター 5個 140030108 | |
| ⑫ 中継ホース 140030237 | |
| ⑬ ACアダプター 140030062 | |
| ⑭ 導入管 140030272 | |

【別売品】

- ① 専用充電器 KC-1500m (充電池1個付) 140030163
- ② シガーライターコード 140031333
- ③ 専用充電池 KB-1500 140030063